

# 水産科学館

年中無休  
開館時間  
9:00～17:00  
☎ 33・7800

## 5月の企画

「えっ！ホントにさかな？」

魚らしくない魚たち展(3階)

日程 5月1日(土)～6月30日(火)

しおりコーナー(3階)

今月はこいのぼり特集です！

サイエンス映画(3階シアター)

シアターから八戸港の大パノラマが一望できるようになりました。

マリエント「うまいもん市」開催

日程 5月3日(日)～6日(水)

午前10時～午後4時30分

マリエントちぎゅうたんけんクラブ

新規会員募集中

対象 小・中学生 ※特典あり

年会費 500円

## 民俗館

5月の休館日  
⑦⑪⑬⑮  
開館時間  
9:00～17:00  
☎ 83・2443

民俗講座「南郷の道祖神巡り」

参加者募集

南郷区の道端にある神様を巡ります。  
日時 5月8日(金)午前9時～午後4時  
集合 午前9時 市庁玄関  
定員 24人  
参加料 50円(保険料)・昼食持参

企画展「なつかしのオモチャ」

開催中

日程 8月23日(日)まで

内容 ブリキのオモチャ・プラモデ

ル・駄菓子屋のクジなど、なつかしい品々を紹介します。

入館料 (一)内は団体20人以上

▽一般 150円(100円)

▽高校・大学生 100円(50円)

▽小・中学生 50円(30円)

※市内小・中学生は無料。高齢者(市内の65歳以上)・障がい者は半額

## サイクルプラザ

5月の休館日  
⑦⑪⑬⑮  
開館時間  
9:00～17:00  
☎ 70・2396

ペットボトル風車作り教室

ペットボトルを使って、2種類の風車を作ります。

日時 5月24日(日)午前10時～11時30分

募集人員 親子10組(小学生以上)

持ち物 ▽針金ハンガー 2個

▽500mlの六角形のペットボトル

(キャップ付き) 2個

申請 4月20日(日)～5月23日(土)に八

戸リサイクルプラザへ

美術館ニユースペーパー 連載第1回

## 「いとも美しき西洋版画の世界」から

4月25日(土)から美術館で開催する「いとも美しき西洋版画の世界」から、ピーテル・ブリューゲル《最後の審判》(1558年)を紹介いたします。

1400年前後に産声をあげたヨーロッパの版画。その後、ドイツのデューラーやオランダのレンブラントなど、次々と才能を開花させた画家たちがあらわれ、16世紀、フランドルに、モチーフに奇怪な生き物を登場させて幻想的世界を表現したピーテル・ブリューゲル(父)が登場します。

この時代、版画には、原作者とそれを版画にした人(版刻者)、そして版元という三者の名前が彫りこまれるようになり、版画を売るといふビジネスが成立するようになっていきました。このブリューゲルはもっぱら原画を担当し、その人気は高く多くの作品が版画化されました。

この作品《最後の審判》は、『ヨハネ黙示録』に基づいたもので、キリストが再臨して人類を裁く場面を描き、審判者キリストを中心にその左右に天国と地獄が表わされています。最後の審判を告げるラッパを吹く天使たち。球体に足

を乗せて虹の上に座るキリスト。神聖を示す右手側には、慈悲を象徴する百合の花が添えられ、よみがえる死者たちや天国へと向かう人々の列が。不浄を示す左手側には、厳格さを象徴するもろ刃の剣が添えられ、地獄へと落とされる罪深き人々が描かれています。また、画面をよくみると大きな口を開け人々を飲み込む怪物(地獄)や、なにやら怪しげな姿の生き物も描かれ、魔界を思わせる世界がひろがり一種異様な気味悪さを持つています。でもちよつとマンガチックでユーモアや滑稽味がにじみでていて魅力的な作品です。



ピーテル・ブリューゲル  
《最後の審判》(1558年)



# 「いとも美しき西洋版画の世界」

～線がつむぎだす「ものがたり」～

平成21年4月25日<sup>土</sup> - 5月31日<sup>日</sup>

ルネサンス文化とともに広くヨーロッパ各地に普及していった版画は、宗教、文学、政治、科学、自然など、人間を取り巻くあらゆる事象が、多くの芸術家により紙の上に美しい線と形でつむがれ、小さな「ものがたり」の世界を作り出しました。

この展覧会では、15世紀ドイツのデューラーから、16世紀フランドルのブリューゲル、17世紀オランダのレンブラント、18世紀スペインのゴヤ、19世紀のルドン、そして20世紀のルオー、ピカソまで、各時代の巨匠たちの作品が一堂に会します。

連綿と続く西洋版画500年の歴史をどうぞご堪能ください。

開館時間 午前9時～午後5時 期間中の土・日曜日は午後7時まで閉館

※入館は閉館の30分前まで

休館日 5月7日<sup>木</sup>、11日<sup>月</sup>、18日<sup>月</sup>、25日<sup>月</sup>

入館料 一般500円(250円)、大学・高校生300円(150円)、小・中学生100円(50円)

※市内小・中学生は無料。( )内は20名以上の団体ならびに市内在住の65歳以上の人・障がい者手帳などをお持ちの人の料金。

イベント ▶ギャラリートーク「古い版画を中心に」

日時 5月17日<sup>日</sup> 午後2時～3時

講師 佐川美智子氏(町田市立国際版画美術館学芸係長)

場所 美術館展示室

※入館券をお求めのうえ直接会場にお集まりください

▶「西洋版画の技法講座」

西洋版画の技法をわかりやすく解説します。

日時 5月10日<sup>日</sup> 午後1時30分～3時30分

講師 戸村茂樹氏(版画家)

場所 美術館講義室

定員 50人(要申し込み)※聴講無料

協力 ガレリア・グラフィカ、町田市立国際版画美術館



レンブラント・ファン・レイン  
《宝章のついたヴェルヴェット  
帽をかぶり口ひげをたくわえ  
た男の肖像》1637年



オーブリー・ピアズリー  
《孔雀のスカート(「サロメ」  
より)》1907年



マルティン・ショングアウアー  
《白鳥の盾をもつ貴婦人》  
1480 - 90年頃



ジャン＝フランソワ・ミレー  
《バターを作る女》1855年

問 美術館☎ 45・8338